

Tuba

# 谷藤綾香 テューバル リサイタル 2020

AYAKA TANIFUJI TUBA RECITAL 2020



## プロフィール

テューバ **谷藤綾香** たにふじあやか

12歳よりテューバを始める。岩手県立花巻北高等学校、日本大学芸術学部音楽学科テューバ専攻卒業。同大学、卒業演奏会に出演。大学在学中、金管五重奏団「クリスタル」のテューバ奏者として活動し、2回の演奏会を開催。

大学卒業後、活動の拠点を花巻市に置き、東北地域で活動始める。

2004年テューバ奏者・奥山隆司氏とジョイントリサイタルを開催。2005年第17回大曲新人音楽祭コンクール優秀者演奏会に出演。2009年盛岡市・花巻市・宮城県仙台市にてソロリサイタルを開催。こどもの音楽再生基金、文化庁・文化芸術による子供の育成事業岩手県実行委員会、岩手県文化振興事業団、いわてアートサポートセンター等が主催する音楽鑑賞教室や演奏指導の事業に参加。

現在、東北各地で、フリーのテューバ奏者として活動する傍ら、テューバ・金管楽器指導にあたる。マリンバとのユニット「チューチューマリン」、サクソフォン・ホルン・打楽器で構成する「混合四重奏Mix団」をはじめとする、常識にとらわれない演奏形態での演奏を展開。

テューバを宮川暉雄、荻野晋、佐々木俊裕の各氏に、室内楽を故・永濱幸雄、板倉駿夫、宮川暉雄各氏に、ピアノを大星美子、大沼百合子各氏に、声楽を折江忠道氏に師事。また、打楽器のアドバイスを緑川葉子、江越海両氏に受ける。



(撮影：小原一夫)

ピアノ **平野 義子** ひらのよしこ

武蔵野音楽大学卒業。ピアノを吉田正美、下福力、西勇夫、北川暁子の各氏に、和声を故・安部幸明氏に師事。リサイタル、ピアノデュオの演奏会の他、東響、ニューフィル千葉と協奏曲を共演。声楽、器楽の伴奏も数多く、共演者としてNHK-FM「名曲リサイタル」に出演。



サクソフォン **古館 祥枝** ふるだてよしえ  
(花巻・盛岡公演のみ)

岩手県盛岡市出身。洗足学園音楽大学器楽科卒業。現在、ヤマハ大人の音楽レッスンサクソフォン科講師。「混合四重奏 Mix 団」、duo ensemble「まるちいず」での演奏の他、作編曲や後進の指導などにあたっている。サクソフォンを成田貴幸、清水いずみ、富岡和男の各氏に師事。



司会・おはなし **味園 史湖** みその ふみこ  
(花巻・盛岡公演のみ)

青山学院大学卒業後、NHK リポーターに。NHK 浦和放送局（現在のさいたま放送局）、NHK 放送センター（ラジオセンター）を経て岩手へ。現在は、NHK ラジオ第一で岩手の話題をレポート、FM ONE（えふえむ花巻）パーソナリティ。

大学卒業直後の17年前の春。故郷に戻ったばかりの私は、テューバというものは伴奏することが主な仕事であると考えていました。

管楽器奏者が周りに1人もいない中、どうしたら良いか分からず、まるで誰もいない砂漠に投げ出されたような気分でした。そんな状況下で試行錯誤を重ねていくうち、テューバでメロディーを演奏することがとても魅力的だということに気がついたのです。

今ではたくさんの方々を支えられ、東北各地に音楽の仲間ができ、本来のテューバの仕事である“ベース”としての役割を果たす機会も多くなりました。それでもメロディーを演奏することは活動の「軸」になっています。

前回のリサイタルから11年。テューバという聞きなじみのない楽器で、どうしたら聴いてくださる方に喜んでいただけるか、音楽の楽しさを伝えられるか思案し続けてきました。以前よりも出来るが増え、表現の幅が広がった今の姿をご覧ください。

テューバの包み込むようなあたたかい音色、見た目からは想像できない俊敏な動きから生まれるエキサイティングな演奏をお届けしたいと思います。

谷藤 綾香

## リサイタルに寄せて

記者としてコンサート、リサイタル取材の経験を重ねるうち、いつからか、聴衆の反応の差に気付くようになりました。専門的なことは分からない私ですが、それは時に残酷なまでにシビアで、音楽の厳しさに慄然とさせられる瞬間です。

そのことを初めて意識したのが、谷藤さんの演奏会でした。いわゆる「玄人」の前で披露するテューバコンチェルトでも、保育園児の前に演奏する「ぞうさん」でも、すぐに会場の雰囲気ガラリと変えるパワー。この力はどこから醸成されるのか知りたくて、何度かインタビューもさせていただきました。

けれど未だに、その明確な答えは得られていません。ユーモアと包容力たっぷりの優しい人柄、専門家をもうならせる演奏技術と音楽への情熱などが要因でしょうか。それとは別のもの、あるいはそれらが渾然一体となった何かがあるのかもしれませんが。

聞けば、谷藤さんのリサイタルは約11年ぶりとのこと。前回からの成長を確かめるもよし、類まれな才能に触れるきっかけにするもよし。そのパワーの源に迫る玄関口なるであろう今回の4公演、皆さんとともに楽しみたいと思います。

岩手日日新聞社 記者 横島 正紀

## 交通アクセス

### ■ 花巻市文化会館

岩手県花巻市若葉町三丁目 16-22  
TEL: 0198-24-6511  
● JR花巻駅から車で約6分 徒歩約20分  
● 花巻南インターチェンジより車で約5分

### ■ 盛岡市民文化ホール

岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目 9-1  
TEL: 019-621-5100  
● 盛岡駅より東西自由通路経由 徒歩3分

### ■ 若林区文化センター

宮城県仙台市若林区南小泉 1-1-1  
TEL: 022-282-1171  
● 東西線「薬師堂駅」下車 南1出口から徒歩約15分  
● バス利用（仙台駅方面から）・系統番号411、450、470に乗車し「若林区役所前」バス停下車 徒歩約3分  
※駐車場に限りがあります。公共交通機関のご利用をお願いします。

### ■ 野方区民ホール

東京都中野区野方 5-3-1  
TEL: 03-3310-3861  
● 西武新宿線「野方駅」南口から徒歩約3分

表紙撮影：松本 伸  
デザイン：大内 公公